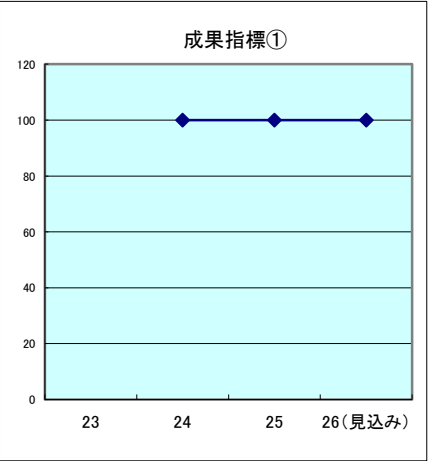
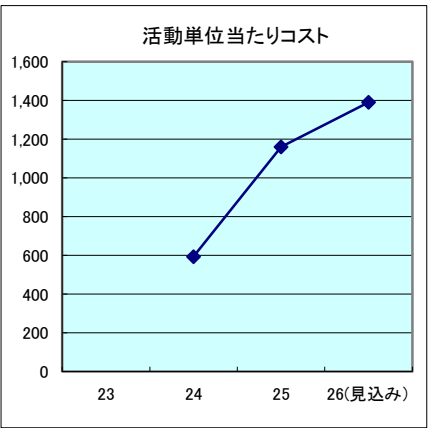


事務事業名			古市駅東広場管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計	
						款	8	土木費	
						項	4	都市計画費	
						目	4	都市整備推進費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		事業	12	古市駅東広場管理		
	施策(節)	9	道路交通						
	施策の方向	(3)	公共交通網と交通ターミナル機能の強化						
関連する計画等					作成部署	都市開発部都市計画課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2571			
事業の概要(目的・内容)		市民の交流活動を通じた地域の賑わいを創出すると共に、古市駅へ安全安心に移動できることを目的とした古市駅東広場の日常清掃管理。 ○広場管理面積 1,300㎡							
根拠法令等									
事業期間		☐ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☒ 5年未満（平成 24 年度開始）							
事業開始時から の状況変化									
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()							
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター)				委託内容			古市駅東広場内の清掃業務等
		☐ 民間委託 ☐ その他							

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)			702	680	973
人件費【2】 (千円)		0	69	828	835
職員数	正規職員	人	0.01 人	0.12 人	0.12 人
	再任用職員	人	人	人	人
	嘱託職員	人	人	人	人
	臨時職員	人	人	人	人
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間
総事業費【(1)+(2)】 【A】 (千円)		0	771	1,508	1,808
財源内訳	国庫支出金 (千円)				
	府支出金 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (使用料・手数料等) (千円)				
	一般財源 【B】 (千円)	0	771	1,508	1,808
活 動 指 標 【C】 (事業の活動実績) 単位		23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 広場清掃面積 ㎡			1,300	1,300	1,300
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①) 円		円	593 円	1,160 円	1,390 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①) 円		円	593 円	1,160 円	1,390 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口) 円		円	7 円	13 円	16 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			#DIV/0! %	95.6 %	19.9 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓) ※該当項目すべてに✓		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記			
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫			
		☐ 5. その他(			



成果指標 (事業の達成度 を測る指標)	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	① 業務完了率 (式又は説明) 委託内容に係る適正な管理		%	目標	100	100	達成率(%)
				実績	100	100	100.0%
	② (式又は説明)			目標			達成率(%)
				実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○							○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	駅東側の利用者の利便性向上と歩行者等の安全性の確保、周辺地区の活性化を図るため妥当性がある。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	清掃等の管理業務は羽曳野市シルバー人材センターへの委託により実施しているが、委託内容を精査しており必要最小限のコストであることから、事業費を削減できない。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☐	☒	
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	毎月の実績報告書で適正に管理できている。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	毎月の実績報告書で適正に管理できている。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）	
	本市の玄関口にふさわしい交通ターミナル拠点として、市民に気持ちよく利用してもらうため、効率的かつ適切な管理を行う。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見 市民の交流活動を通じた賑わいを創出する広場であることから、市民の安全を確保し、適切に管理すること。	